



ボランティア・かわらばん No.110

編集／発行：安城市ボランティア連絡協議会（安城市社会福祉協議会内）

〒446-0046 安城市赤松町大北78-4 Tel-0566(77)2941、Fax-0566(73)0437

マッチング交流会に参加

平成28年12月10日（土）社協主催の地域福祉マッチング交流会&サロン活動博覧会が、総合福祉センターを会場に開催されました。「求める人」と「求められる人」とのお見合いの場であり、市内の多くの福祉団体とボランティア団体で賑わった中、交流会全体として52件のマッチングが成立しました。

連協も「求められる人」として参加し、「災害時要援護者サポートブック」出前講座をPRし、12団体から声を掛けていただきました。



西三河ボランティア連絡会

—西三河地域の情報を共有し、連携をより深める目的の連絡会(現在8市1町)—

(1) 情報交換会

平成29年2月4日（土）豊田市福祉センターで西三河ボランティア連絡会情報交換会が行われました。各市町から選ばれたグループの活動発表があり、その後、テーブルワーク（各人が興味のあるグループのテーブルに行き、自由に討論する）が行われました。刈谷市の「おてだま」、幸田町の「水泳教室」、豊田市の「視覚障がい者とウォーキング」などユニークな活動が紹介されました。安城市からは「安城市民やろMYプログラム実行隊」が「ご近所サロン」など多彩な活動を発表し、注目を集めていました。

(2) 第3回連絡会

平成29年3月14日（火）安城市社会福祉会館を会場に開催しました。

平成28年度事業報告と決算を審議した後、豊田市から情報交換会の報告があり、会長を幸田町に引き継ぎました。

各市からの報告では連絡協議会の規約と会議の開催状況、更に災害ハザードマップによる被害想定とその対策の発表があり、情報共有の一助となりました。



連協勉強会の開催

平成28年12月17日（土）「障害者差別解消法」について障害福祉課より講師を招き勉強会を開催しました。「合理的配慮」や「不当な差別的取り扱いの禁止」など、具体的な事例に基づいて講義を受けました。

例えば「混雑時の車いす障害者の来店を避けて下さい」は、『障害を理由に商品やサービスの提供を拒否したり制限すること』であり禁止行為であるなど、熱心な質疑が交わされました。



災害時要援護者サポートブック出前講座

(1) 平成28年12月4日(日)桜井西町町内会の防災訓練が町内西部地区で行われ、予め中学生に車いすの取扱いを指導しました。100名が参加され、地元消防団の広報車による訓練開始広報を合図に、未集合者の安否確認の後に、中学生が押す車いすを先頭に西町公民館広場に避難しました。

集合した人が、3班に分かれ車いすの安全走行・段差の昇り降り等の体験をし「車いすを、安全に利用出来るようになった」との声も聞かれました。

(2) 平成29年1月24日(火)安城市民会館指定管理者への出前講座を実施しました。9名が参加して、車いすの安全走行・階段の昇り降り・抱っこひもやエアーストレッチャー等の体験を実施し「安心して安全に避難誘導できるようになった」という感想がありました。



安城市民会館

フシ勉強会を開催！介護予防のための総合事業って？

平成29年4月から始まる『介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)』について、3月の常任委員会でフシ勉強会を開催しました。

当日は高齢福祉課地域支援係の担当者から、2020年度には高齢化率21%を超え超高齢化社会へと推移していくこと。これからの介護予防については、従来の介護予防事業をさらに充実させ、自助・共助・公助の仕組みを広げていく仕組み、一般介護予防事業や高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業(通いの場の提供活動を行う団体に対し活動費の補助)制度などの内容を学びました。



私たちボランティア団体も日頃の活動内容を見つめ、社会参加への意義と団体の役割を再認識する動機付けになりました。■ 勉強会：29年11月18日(土)午後1時30分～社会福祉会館2階 ■

新規加入グループ紹介

新しく連協に加入されたグループをご紹介します

年金ブラザーズ(芸能ボランティア)

団塊の世代で結成した、高齢者オジンと女性2名のアマチュアバンド(総人数8名) 老人ホーム慰問主体のボランティアバンドです。高齢者の皆さんに少しでも喜んで頂き、元気を与える手助けができれば幸いとの思いで活躍中、夢は米寿まで活動を続けたいと意気込んでいます。

メンバーは1948年～1949年生まれの北中同窓生の仲間たちです。 代表者：安藤清高

にこにこ紙芝居(芸能ボランティア)

私たち『にこにこ紙芝居』は、平成28年7月に産声をあげたばかりのグループです。メンバーは3人で、いずれも昔は若かった愉快的3人組です。紙芝居を中心と絵本・てあそび・歌などを織り交ぜて、皆で参加して楽しめるプログラムを考えています。

これからの夢！ 目標は、施設・グループ・地域サロン会へと出向いて皆さんと一緒に楽しめるおはなし会をすることです。 代表者：木下直美